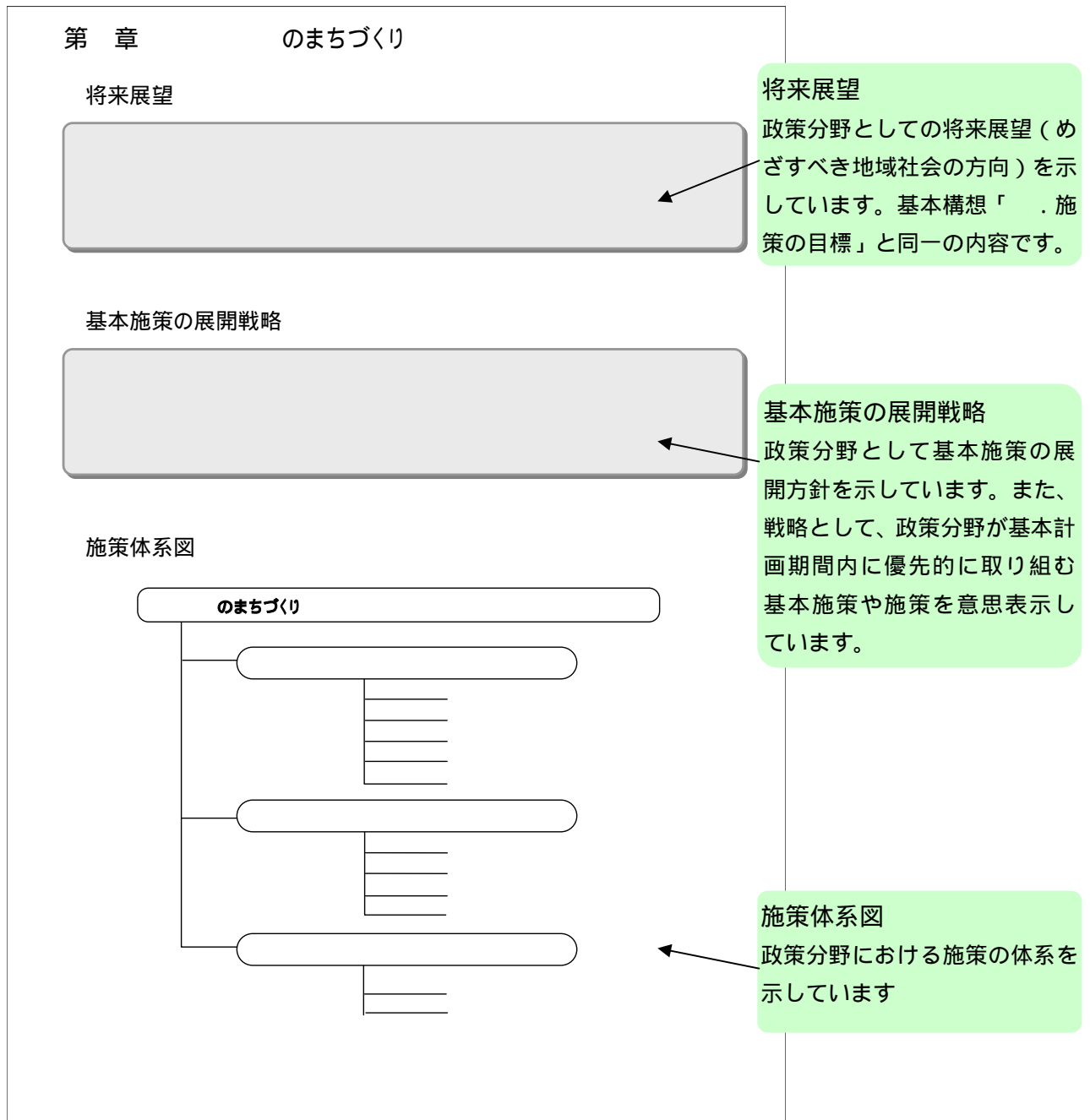


基本計画

基本計画の構成と見方

当基本計画では、個別の基本施策（節レベル）ごとに、施策の達成状況を確認する「まちづくり指標」や「施策の展開」などを示しています。各項目の内容については次の通りです。



第 節

まちをつくる

現状と課題

現状と課題

基本方針の設定や主な施策の展開の背景となっている現状や課題認識などを示しています。

基本方針

基本方針

めざすべき施策の基本方針について示しています。

まちづくり指標

まちづくり指標名	説明	単位	現状値	5年後の	10年後の	めざすべき
				目標	目標	目標

まちづくり指標

施策の達成状況を測るために設定した指標です。説明を要する指標については適宜解説を加えています。

現状値

指標に基づく現状（H17）の数値を示しています。

目標

計画期間内における目標値です。5年後、10年後における施策の進行状況の参考として位置づけています。

主な施策の展開

- (1)
- (2)
- (3)

市民まちづくりワークショップからの提言

市民の役割(例示)

市民まちづくりワークショップからの提言
市民まちづくりワークショップにおいて、基本方針やまちづくり指標の達成をめざすため、「市民として協力できること」や「主体的に市民が取り組むべきこと」などについてご提案いただいた内容を示しています。

主な施策の展開
基本方針において示した内容をより具体的に示したものです。どのような施策により基本方針やまちづくり指標の達成をめざすのか、その方向性を示しています。

【用語説明】

市民まちづくりワークショップ：第3次総合計画立案・策定を通じて、今後、一貫した地域および行政経営を展開することを目的に、まちづくりの目的・目標を市民と行政などが共有するため、各種団体代表や公募市民に参加いただき新たな総合計画について議論いただいたもの。

まちづくり指標について

まちづくり指標は、市民とともにめざすまちづくりの方向性を示すもので、市民と行政がいっしょになってつくりあげていく、将来の城陽市のまちの姿を表しています。

具体的には、当基本計画の基本施策（節）ごとに、市民にとって重要な指標をまちづくり指標として設定し、その数値を測定して施策の達成状況とともに、市民からの政策ニーズを把握します。

1. まちづくり指標の役割

まちづくりの進捗状況の確認

まちづくり指標を定期的に測定し、目標や他の自治体の状況などと比較することにより、まちづくりの進捗状況を把握して、指標の軌道修正を行います。

政策立案の支援

まちづくりの進捗状況を確認することにより、その都度、基本施策ごとに城陽市の課題を明らかにします。市は把握された課題を踏まえて、今後の政策の立案を行います。

市民参加の促進

まちづくり指標を公表することにより、市民はまちづくりの進捗状況を具体的な数値で確認し、まちづくりの進捗状況を評価できます。また、まちづくり指標の目標実現に向け、市民は自分たちの役割や自身ができることを認識し行動することにより、市民参加や協働のまちづくりを促進します。

2. まちづくり指標の特徴

まちづくり指標は、最終的に「めざすべき目標」を明らかにするとともに、その目標への段階的な取り組みとして、「5年後」および「10年後」の目標を示しています。

「めざすべき目標」は、将来めざす理想的な姿を想定して設定していますが、分母となる将来の対象数値が特定しにくいものなど、理想値が算定困難なものについては、「」や「」で示しています。

まちづくり指標は、全ての施策を網羅的に測定できるものではなく、特に重要な施策に対して目標値を設定しています。

まちづくり指標は、施策の進捗状況や社会的背景、市民からの政策ニーズなどを的確にとらえ、今後においても適宜見直しを行い柔軟に対応していきます。